



令和5年 年頭のあいさつ



ご利用者・ご家族の皆様、職員の皆様
あけましておめでとうございます。

院長 柳瀬 治

2020年3月にWHOがパンデミックを宣言した新型コロナウイルス感染症は、昨年来、感染力の強いオミクロン株の出現で猛威を振るいました。現在、日本は第8波に見舞われていますが、ワクチン接種の普及、治療薬の開発およびウィルスの病原性の変化などにより、重症化率は低下し、少しずつパンデミック収束出口の光が見えてきたように思われます。

当センターにおいても職員の感染からご利用者の感染に至ることが散発的に起こりましたが、幸いなことに感染が拡大してクラスターに発展することなく、感染したご利用者も後遺症なく回復されています。ひとえに職員皆様のご尽力とご利用者・ご家族皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。ありがとうございました。

さて、昨年は中東カタールで開催されたサッカーワールドカップにおいて、日本代表チームが強豪国ドイツ、スペインを撃破するなど大活躍し、日本中に大きな感動をもたらして勇気づけてくれました。当センター職員一同力をいただき、一丸となって当センターの使命を果たしていきたいと気持ちを新たにしております。今年はポストコロナを見据えて、気を緩めることなく万全の感染対策を継続しながら、段階的に日中活動、機能維持・向上のためのリハビリテーションの拡大を図るとともに、通所事業および短期入所事業を推進していきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様にとりまして2023年が温かく幸多き一年になることを願ひまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

第3病棟の皆さんが紙ちぎりや糊付けをしました。かわいらしいうさぎの完成です！
今年もよろしくお願いいたします。





クリスマス会



第2病棟 保育士 杉山 陽子

「イングリッシュガーデン・クリスマス会」

今年の2棟のクリスマス会は、「イングリッシュガーデン・クリスマス」をテーマに行いました。庭園をイメージした空間は、イギリスのガーデニング映像と静かな音楽が流れ、壁にはバラをたくさん飾り、床には芝生の上にバラや小花を散らしました。プレイルームに入ると、家から庭に出るようなイメージができるように真っ直ぐな廊下を抜けると庭園が広がるように景色をつくりました。

みんなで芝生の上に降りて、クリスマス会が始まりました。まずは、ハンドベル生演奏です。指揮者は、奈良県出身のモーツアルト氏と「湯ばあば」さんのピアノ演奏で楽しくスタートしました。療育活動時間にハンドベルの練習をしていたので、音を出すタイミングはバッチリでした。ハンドベルを握りながらお互いの音に耳を傾けたり、曲に合わせて声を出して歌ったり、それぞれの楽しみ方で演奏ができました。お楽しみのアフタヌーンティータイムは、甘いカフェオレとケーキでした。注入の方も味見程度でしたが、ケーキやコーヒーを味わうことができました。更にコーヒーの香りをもっと感じられるように、インスタントコーヒーを湯に溶かして香りを放ちました。するとカフェに来たかのような香りが広がりました。最後はプラネタリウムで天井に映し出された冬の景色を見ました。天井を仰ぎながら、うす暗い空間の中でリラックスして過ごす時間を過ごせたかなと思います。



クリスマス会では、音楽を奏でる、聴く、スイーツを食べてコーヒーの香りを感じる、芝生に触れる、プラネタリウムを見るなどたくさんの感覚を楽しみながら、利用者全員の参加で行事を開催することができました。

「通所クリスマスは素敵な飾りと共に・・・」

2022年も通所ではクリスマスウィークが開催されました。毎年クリスマスが近づくと、利用者の皆様と一緒にクリスマスの装飾を作りますが、今回も素敵なクリスマスの飾りができました。その名も「ヒンメリ」です！北欧の伝統的な装飾を利用者の皆様と職員で制作しました。吊るすように飾ると、一人一人の個性あふれる作品が並び、とても素敵な飾りとなりました。小さなクリスマスカードを集めて作ったクリスマスツリーも入口に飾り、準備は整いました。そうして始まった通所クリスマスウィーク!!月曜日と木曜日は職員と利用者によるクリスマスソングの演奏です。トーンチャイムを手に、皆で「きよしこの夜」などのクリスマスソングを演奏しました！素敵なハーモニーで利用者の皆様も職員も聴き入ってしまいました。火曜日と金曜日には「クリスマスパズルゲーム」を行いました。ガチャガチャを引いて出たカプセルには番号が！出た番号のパズルを貼っていき、一つの大きな絵を完成させました。完成したのはサンタクロース！他の日にはトナカイの絵が完成しました。

通所係 保育士 高橋 達也



水曜日の映像鑑賞では、全国の夜景やクリスマスイルミネーションを鑑賞しました。楽しい時間はすぐに過ぎていくもので、2022年のクリスマスウィークは皆様の笑顔と共に終了となりました。皆様が作った「ヒンメリ」は次の週に持ち帰って頂きました。

2023年も皆様にとって楽しい一年となることを祈りながら、次のクリスマスウィークに向けてのアイデアを考えています。2023年も皆様の素敵な笑顔がたくさん見られますように。



障害者週間と地域自立支援協議会



在宅支援室 医療ソーシャルワーカー 係長 三村 さやか

毎年12月3日～9日は「障害者週間」です。この期間は全国で、障害のある方への理解を促す啓発活動が行われています。東大和市地域自立支援協議会では、12月3日に、スタンプラリー『障害ってなあに?』を開催しました。地域自立支援協議会は、障害のある方が地域での生活が送れるよう、当事者と支援者が一緒に話し合い、活動を行っています。

スタンプラリーでは、4つのコーナーをまわります。市内の作業所で作ったお菓子や手工芸品を購入したり、展示物を見ながらおとし亡くなった当時の地域自立支援協議会の会長海老原宏美さんの人生に思いをめぐらせたり、災害が起きた時に障害のある方が困ることと手助けについてかた遊びをしながら学んだり、コロナ禍での日々の生活で障害のある方が困っていることとまわりの方ができる工夫についての動画を視聴することができました。全てのコーナーでスタンプを押してもらうと、東大和市ならではの記念品がもらえました。

動画は3本あり「コロナ禍での障害者支援～『密』な介助での感染予防情報～」 「マスクをつけられない方への理解～障害のある方の関係者の声～」 「マスク生活と聴覚障害者～マスク生活でのコミュニケーションの工夫～」について知ることができます。これらの動画は、東大和市公式動画チャンネルで配信されていますので、ぜひご視聴してみてください。右側のQRコードからもご視聴可能です。



歯ミカップで表彰されました!!

昨年は、カタールでサッカーワールドカップが開催され、日本は快進撃を見せてくれました。ところで、みなさん、歯ミガキワールドカップ(歯ミカップ)ってご存知ですか?北多摩西部保健医療圏内(立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市)の障害のある方や障害者施設の歯と口の健康づくりの取り組みを表彰することにより、歯科保健の向上及び障害者の自立支援を図ることを目的とした全国でも例のないイベントです。平成19年に多摩立川保健所を舞台に始まり、現在は、各市の歯科医師会が持ち回りをして開催されています。今年度は、オンラインで昭島市歯科医師会主催の第15回(令和4年10月20日)を迎え、我々も参加しました。

本大会の創設に尽力されプレ大会の会長を務められた故平井良嗣氏(元東大和市歯科医師会長)の功績を称えた「平井記念賞」は、御遺族が、亡き先生の『障害があっても、歯と口の健康を保てるように地域が支援しよう』という思いを実現するため、多額の寄付をして頂き作られた賞です。この度、その平井記念賞に東大和療育センター歯科が選ばれました。

歯科医師(元橋・藏本・岸):患者様にとって、より良い歯科治療ができるよう心がけてきたことが評価されて、大変嬉しく思っています。これからも、この平井記念賞に恥じぬよう、歯と口の健康が保てるよう地域の障害者歯科医療機関として、スタッフ一同頑張っていきます。

歯科衛生士(菊池・奥山・伊藤・金崎・黒岩):これからもセンター歯科を利用される皆様の口腔と全身の健康維持増進のためにフッ素塗布やブラッシング指導に励みます。

受付(小寺・佐藤・桑谷・北原・鈴木):歯科の予約や電話対応などに忙しくしていますが、毎日笑顔でお迎えます。





思うこと

感じること

伝えたいこと

Vol. 24

薬剤検査科 診療放射線技師 主査 内藤 清

「バイクが好きだ」というCMがあります。その直な言葉が今の私にピッタリです。改修工事で車通勤ができなくなったのがきっかけでした。小型自動二輪免許を取得して自動車と近い条件で走れる125ccのスクーターに乗ろうと決めました。いざ乗って通勤すると風を全身に浴びて実に楽しい。周りの景色もとても輝かしく見えるのです。中型自動二輪免許にステップアップするのは自然の成り行きでした。左手でクラッチ、左足でギア上下、そして右手でアクセル・前輪 ブレーキ、右足で後輪ブレーキ、この一連の動作でバイクを走らせる。操縦している感が堪らないのです。さらに大型自動二輪免許を取得。世界中のどんなバイクをも運転できる資格。ワクワクします。

今、私は相棒のバイクと共に海沿いや山道そして街中を走っています。バイクで走っていると何もかも忘れて自由になれる。確かに暑さ寒さを辛く感じもします。危険もないとは言えません。でもそれ以上に楽しさ喜びが勝るのです。皆様もいかがですか。



メニュー紹介

【2022年クリスマス】

メインのミートローフはリースをイメージし型どり、野菜で飾り付けをし仕上げました。ポテサラダの雪だるまはマヨネーズで味付けしたマッシュ状のジャガイモをディッシャー大小で作りました。目にはレーズン、ボタンはグリーンピース、マフラーにカニカマを使用し可愛らしく盛り付けしました。デザートはクリスマスらしくショートケーキに苺のサンタを作りトッピングしました。

【2023年お正月】

伊達巻や昆布巻、かまぼこ、黒豆の盛り合わせや松風焼、関西風のお味噌仕立てのお雑煮です。それぞれ食べやすいよう柔らかい食材を選び提供させていただきました。お正月らしく竹輪とイグサを使用して門松に見立て盛り付けも工夫しました。今年も皆様に喜んでいただける食事を提供する事を日々心がけてまいります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

<栄養科 一同>

〈クリスマス 常食〉



〈クリスマス ソフト食〉



〈お正月 常食〉



〈お正月 ソフト食〉



編集後記

新たな年を皆さんと迎えられることに感謝です。今年うさぎ年。うさぎは、その温厚な性格から「家内安全」の象徴として愛される縁起の良い動物だと、何かで読みました。

気持ちに余裕を持ち、心穏やかにうさぎ年を過ごしたいと思います!この小さな心掛けが良い影響となり、家庭内が、学校や職場内が、地域が、国全体が、世界中が笑顔で包まれる年になったらなあ、強く願うばかりです。うさぎの長い耳は福を集めると... 福よ集まれうさぎ年♪(ピノ)



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

そよ風 第109号

編集 院内報そよ風編集委員会

発行日 令和5年1月15日

発行 東京都立東大和療育センター

東京都東大和市桜が丘3-44-10

Tel. 042-567-0222